

平成21年度 松本筑摩高等学校評価表〈通信制〉

学校番号 81

通信制教育目標		重点目標(中長期的目標)		成果と課題					
「生きる力」の育成 ～自学自習を通して～  ○社会に対応できる学力 ・コミュニケーション能力 ○自己の可能性の再発見	①単位取得に向けた履修継続への支援	②自己実現を図るための進路指導の充実	学びの場を提供することを再認識し、個々の生徒とのパイプを太くすることを心掛けた。基礎学力不足の生徒への学習支援や「不活動予備生」対策をどのようにしていくか検討する。 進路情報の提供や進路希望調査の結果を参考に職員との共通理解を得て指導するよう心掛けた。進路ガイダンスをより充実させ、早い時期から卒業年次以外の生徒にも進路に対する意識の啓発を図っていく。	A	B	C	改善策と向上策		
	今年度の重点目標		成果と課題	A	B	C	改善策と向上策		
	①単位修得率の向上	②添削・教科指導の工夫・改善	③補充スクーリングや個別指導の工夫	・学年通信や筑摩により連絡を密にし生徒のやる気を喚起することに配慮した。 ・レポート作成補助プリントの活用やアドバイスの記入により、昨年度に比較してレポート数の増加傾向がみられる。 ・地区面接や補充面接への出席者が増え、日・月以外にも登校し指導を受ける生徒が増加した。	○	○	○	・入学当初の学習習慣が身に付いていない生徒やレポート作成に苦労している生徒への学習支援の検討。 ・生徒の学習に対する意欲を促す添削指導の工夫。担任と教科担任との連絡を密にしてレポート作成への情熱を維持する指導の検討。 ・日・月の本校面接受講を基本に、個々の生徒の履修をより計画的に進めるよう指導する。また基礎学力不足の生徒への支援体制を検討する。	
領域	内容	内容	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策と向上策	
教育活動	学習指導	・教育課程の改善	・二期制がメリットなど生徒の要望に応えられる改善ができたか。	・教育課程委員会での検討を経て、通年科目の分割認定を認め少しでも単位修得ができるよう工夫をしている。	○	○	○	・新しい教育課程を考えるなかで、二期生のメリットを引き出すよう検討を進めていく。	
		・継続的な学習を促進する指導	・生徒の学習意欲を持続させ、計画的に学習をする指導ができたか。	・計画的に学習する態度を身につけさせることは容易ではないが、面接時間の合間の指導でも、少しでも学習意欲を持たせる指導をした。	○	○	○	・生徒に日常の学習活動を継続させるよう、スクーリングの計画を検討する。	
		・面接の充実	・レポートの提出数が増え、単位修得率が向上したか。	・18年度からの統計によると、修得した科目の割合は年度をおうごとに増加している。今年度は前期のデータではあるが昨年度と同様の単位修得率である。	○	○	○	・日常の学習活動を充実させることに取り組み、その結果として単位修得率が向上するようしたい。	
		・シラバスの活用	・指導に生かすとともに生徒の役に立ったか。	・ホームページに掲載し、生徒の受講指導などに活用した。	○	○	○	・生徒が学習を進めるなかでシラバスが活用できるよう、身近なものにしたい。	
	e-ラーニング	・e-ラーニングの研究	・e-ラーニングに対する理解を深めることができたか。	・NHK高校講座を活用したe-ラーニングのあり方について研究を進めた。	○	○	○	・研究成果をもとに研修会を開くことで、学習支援教材として効果的な活用方法についてさらに研究を進める。 ・生徒がストリーミング配信等視聴できるPCの設置を検討する。	
	図書	・図書館利用度の向上	・入館者数、貸し出し数は増加したか。	・司書が「べら読書」という名著紹介の文書を発行、啓発に務めた。	○	○	○	・今の取組の方向を継続して、さらに通信制にもその影響が及べば良いと思う。	
	生徒指導	・安心して学習できる環境作り	・集会・HRでの指導や、生徒個々へのその時の適切な指導で生活や授業のマナーを改善できたか。 ・校内の巡視を徹底できたか。	・さまざまな機会を捉え、訴えることはできた。おおむね問題はなかった。 ・やや形骸化の傾向が見られたが、実施できた。	○	○	○	・今後もしっかりと訴え、安心して学習できる場の確保に努めていく。 ・より効果的で実のある方法を考案し実施してゆく必要がある。 ・取り扱いはさらに工夫し、実施してゆくべきである。	
		・交通安全の徹底	・昨年度に引き続き、IDカードの携帯を徹底できたか。	・おおむね実施でき、不審者や外来者の侵入は見られなかった。	○	○	○	・講習会・講演会等の実施も含め更なる訴えを続ける。	
		・禁煙の徹底	・集会・HRでの指導や、生徒個々へのその時の適切な指導を通じて、喫煙の害を自覚させ、喫煙をやめさせることができたか。	・大きな交通事故の報告はなかった。機会を捉えての注意喚起の効果もあったと考える。 ・一部生徒に規則を守れないものが見られたが、基本的には改善の方向にある。	○	○	○	・良策はないのが実情であるが、生徒のみならず親への訴えも含め、地道な根気のある指導を続けていく。	
	相談支援	・生徒、保護者の声を聞く	・生徒の課題を共有できたか。 ・クラス担任との連携ができたか。	・来室する生徒一人一人の通信制で学ぶ意味に寄り添うことが出来るよう、聴くことに努めた。 ・生徒の思いや状況が、生徒理解に役立てて貰える。	○	○	○	・適切なアドバイスと方向性が示せるようになる。 ・ホッとする暖かな雰囲気の間接室を提供する。	
進路指導	・進路指導体制の確立	・情報の提供が充分できたか。	・生徒が常に登校しない通信制で困難を極めるが、掲示・配布物・閲覧可能な資料・進路ガイダンス等を通じて情報提供に努めた。	○	○	○	・保護者も含めて、卒業までを見通し、広く機会を捉えて情報を提供する場をつくる。 ・他課程との連携を深めるようにする。		
	・進学・就職指導の充実	・進路希望調査や面接により、個々の進路希望を把握できたか。 ・本人の希望・適性にそった指導ができたか。 ・事業所に対して通信制への理解の働きかけができたか。	・進路希望調査を年間3回実施し、結果を全職員に配布。共通理解を図った。 ・クラス担任を中心に生徒と面談し、本人の希望をつかむようにした。 ・出願前の企業訪問、企業説明会への出席等を通じて、通信制と、そこに学ぶ生徒への理解をつたえた。	○	○	○	・進路ガイダンスを充実させ、進路に対する意識の啓発を図る。 ・保護者懇談会・受講指導等、あらゆる場を利用して、卒業年次ではない生徒についても情報を提供し、本人の意向や家庭の希望を把握する。 ・さらに積極的に事業所への働きかけをし、通信制への理解を促す。		
生徒活動	・地区活動の充実	・魅力ある活動ができ、参加者が増加したか。	・地区面接・地区行事など、参加者数を増やすことができた。	○	○	○	・より地区活動が活性化するように、各地区ともに連携を深める。		
	・生徒会行事への積極的な参加	・運動会、文化祭、交流会での参加者が増加したか。	・役員中心にても意欲的な取り組みができた。(文化祭で、アーチを完成させたことなど)	○	○	○	・生徒会説明会等を利用し、地区・クラブ・文化祭などの宣伝を行い、参加者の輪を広げていきたい。		
学校経営	美化	・清掃や美化活動への積極的な参加	・清掃への参加者が増加したか。 ・美化活動の内容が充実したか。	・参加人数も増え、道具の数が足りないうらい中庭草刈、清掃の美化活動が定着しつつある。短時間で一斉に清掃が出来、内容も充実していた。	○	○	○	・道具の充実と時間の工夫。後期にも生徒会とタイアップした美化活動の計画も在りて参加者が増加するよう呼びかけをした。	
		・定時制との連携に向けた研究	・午前部・午後部・夜間部との連携について課題が明確になったか。	・反省に基づいて全パートの連携として新学習指導要領改訂に向けての各教科毎の研修会が開催され、全通研への参加や中通研の発表も含めた取組も積極的に行った。また県外校の視察を実施するなど情報の収集に努めた。	○	○	○	・ビジョン委員会等を中心に研修会とおして、教育活動に生かしたい。	
	組織運営	・係活動の活性化	・課題に対する提案や周知徹底ができたか。	・職員室が分散したため連絡等の不備が心配されたが、板書の工夫や確認の徹底等で対応できた。 ・臨時の連絡会を何度か開催し、情報交換の場を設定することに努めた。	○	○	○		
		統計データ	・データの管理、活用	・生徒情報、校務に関するデータの整理ができたか。 ・安全にかつ充分に活用できたか。	○	○	○	・新たにシステムが導入されたことに伴い、より効率よく運営できるよう、一層の改善や工夫を検討していく。	
		視聴覚	・学習補助の充実	・生徒が見易いように撮影に工夫を凝らすことができたか。 ・放送視聴を有効活用させることができたか。	・月曜日は編集をかけた映像を上映することができた。 ・放送視聴を十分活用できなかった。	○	○	○	・来年度「学習のしおり」等に広報できる文書を入れた。
		情報	・管理システムの充分な活用	・効率的で正確な最新情報を入手できるようにする。	・システム導入により、生徒の学習状況が把握しやすい環境が整った。	○	○	○	・一層の活用の効率化を目指し、細部に渡る改善や理解しやすいマニュアル作り等を進めていく。
	保健	・より多くの生徒に対する健康管理	・生徒が一人でも多く定期健康診断を受けたか。	・定期健康診断への取り組みが、全職員の協力の下で達成された。	○	○	○	・より多くの生徒が受診できるよう、外部機関の力も借りて進めていきたい。	
		施設	・相談室の充実	・相談室の施設・設備の充実がなされたか。	・生徒がゆとりと落ち着いた時間を過ごせる空間にできた。	○	○	○	・より一層の学習環境の充実を努めたい。
	地域連携	広報	・本校通信制の理解を促す広報活動	・HPや通信誌を通して、常に新しい情報を発信できたか。 ・生徒募集等に係り中学校や高校に適切な資料送付や説明ができたか。	・HPが新しくなり、通信制の生活についてブログ形式で紹介できた。 ・通信誌「筑摩」を通して学校生活のタイムリーな情報を発信できた。	○	○	○	
			渉外	・教育振興会の活性化	・総会、理事会への参加を役員・保護者に確実に通知できたか。	・来年度より総会開催日が、通信の振替日(金)から木曜日に変更され、より参加し易い体制になった。	○	○	○